

快適な歩行空間の確保を目指して、西五丁目・樽川通、宮の森・北二十四条通を電線地中化するための電線共同溝整備を進めます。



▲新琴似四番通の流雪溝。路肩に積もった雪は住民の協力で投雪口に消え、快適な通行が確保されている

公園造成

造成されてから長い年月が経過した公園を、地域の人たちの意見を取り入れながら、それぞれの特性に合わせた魅力あるより親しまれる公園に再生する「個性あふれる公園整備事業」。今年は、太平杉の子公園（太平八一六）、篠路駅前南公園（篠路四一六）、篠路駅前青葉公園（篠路五一六）、新琴似西はまなす公園（新琴似一一一―一三）の四つの街区公園が新しい公園としてよみがえります。また、新たに（仮称）新琴似九条公園（新琴似九一四）の街区公園一カ所のほか都市緑地一カ所を造成します。

北八条三東地区第一種市街地再開発事業

発展を続けているＪＲ札幌駅北口周辺。北八条西三丁目の再開発では、民間のビルが平成十九年の完成を目指し、この春から着工されます。

新琴似駅前土地区画整理事業

ＪＲ札幌線の高架化により、踏切による交通渋滞や市街地の分断が解消され、より住みよい地域へと発展している新琴似地区。ＪＲ新琴似駅を中心とする九・八ヘクタールの区画整理事業を引き続き進め、駅前交通広場や緑地、道路を整備するなど、市北部地域の交通アクセスの拠点として、魅力ある空間づくりを目指します。



▲交通広場や緑地などが整備される新琴似駅前の完成予想図

市営住宅

百合が原九丁目では、来年二月の完成を目指し、借上市営住宅ノースパーク百合が原の建設が進められています。

町名整備・住居表示

北一八条西二丁目と七丁目の一部、新川の一部（新川六条一四丁目・一五丁目に変更）で町名の整備

を行い、北一八条西一丁目から七丁目の一部までと、新川の一部で住居表示事業を実施します。

洪水ハザードマップ

大雨や洪水時に速やかに避難していただくため、豊平川などが氾濫した場合に浸水が想定される区域や避難場所などを記載した地図を作成します。今年七月以降に対象地域に配布される予定です。

協働によるまちづくりの取り組み

区のふれあい街づくり事業 区内に伝わる歴史と文化を生かして、愛着と誇りを持てるまちをつくること、区では「区のふれあい街づくり事業」に取り組んでいます。今年度は、世代間の交流を深める「ふれあい交流事業」、藍染め文化の伝承や歴史と文化の十八選保存継承などの「歴史と文化の伝承事業」、まちづくり活動

まちづくりセンター

今年四月、市の出張所・連絡所は「まちづくりセンター」に名称が変わりました。「まちづくりセンター」では、これまで取り扱っていた業務に加え、「町内会や商店街、企業、PTA、ボランティア団体、NPOなど幅広い団体のネットワーク化支援」や「地域の特性を生かした自主的なまちづくり活動の支援」などに取り組みます。地域の課題を共有し、相談し合う場として、お気軽にご利用ください。

北区協働型防災訓練

地域と区がそれぞれの役割を分担し、地域の人たちの自主防災活動を主体とする訓練を、今年も実施します。



▲藍染め体験教室の様子